

活動報告

1. 役員会

第 44 回理事会及び評議員会が 6 月 22 日（火）に開催されました。平成 21 年度の事業報告および決算等の審議を行い、承認を得ました。また、会長、理事及び評議員の交代が以下のよう
に決まりました。

会長 新任 槍田 松瑩氏
（（社）日本貿易会会長）
同 退任 勝俣 宣夫氏
理事 新任 小林 栄三氏
（伊藤忠商事（株）会長）
同 退任 丹羽 宇一郎氏
評議員 新任 北澤 通宏氏
（（社）日本電機工業会会長）
同 退任 西田厚聰氏

平成 21 年度財務諸表、事業報告書などはホームページに掲載して
います。

<http://www.iti.or.jp/jigyoku.htm>

2. 最近のプロジェクト・調査研究

活動から

平成 22 年度においても多様な調査研究プロジェクトがスタートして
います。本年度取り組む主なプロ
ジェクト・テーマは次のとおりです。

1) 東アジアの国際物流と課題

過去 2 年の調査結果（「中国の物流」、
「ASEAN の物流」）を踏まえ、今年
は東アジア全体（インドを含む）の
物流の現状を俯瞰的に捉え、東
アジアのサプライチェーンの
変化を分析し国際インター
モーダル・ネットワークの課題
と将来を探ろうとしています。

2) 我が国経済の構造変化と産業連 関分析

産業部門別効率性の長期分析によ
りわが国の産業構造の変化の方向
を探ります。このため、産業連
関動学モデルに資本ストック推計
方法を精緻化し、労働生産性、
産業別資本収益率など、産業の
効率性指標を測定することと
してあります。

3) ベトナム経済の発展要因

「CHINA+1」の最有力候補と目されるベトナムについて、マクロ経済、産業クラスター政策、農業・食品分野、国際収支、進出日系企業の実態などの視点から調査分析します。

4) ブラジル経済

ブラジルについては、これまで「消費市場と新中間層の形成」、「新興国ブラジルの対外関係」に焦点を合わせた調査分析を行いました。今年は、世界経済に重きをなした始めたブラジルの企業、特に日本にまだあまり情報が紹介されていない民族系企業の実態に迫るべく企業情報のリスト作成に取り組むことにしています。

ください。

<http://www.iti.or.jp/reports.htm>

(2) 調査研究報告書などの頒布・電子出版 (CD-ROMの制作)

本誌などの定期刊行物、調査研究報告書などをご希望の方に実費で頒布しています（委託をうけて実施したものは、委託先の了解が得られたものに限ります）。ご希望の方は事務局（担当：山本）までご連絡ください。

(3) ホームページ（「フラッシュ記事」）

ホームページに掲載した最近の「フラッシュ記事」は次のとおりです。

3. 調査研究報告書など

(1) 調査研究報告書

平成 21 年度調査研究報告書を都合 18 本刊行していますが、この程、各報告書の要旨を、ホームページの「最近の研究業績」に掲載しましたのでご覧

134. バンクーバー、シアトルの二都物語

135. 石焼いもとパリのカフェ

136. 沖縄・石垣島に寄港する台湾—中国間を航行する“クリアランス船”の減少

次の掲載論文等は、JKA の補助事業の成果の一部を活用しています。

- ・ 2020 年の CO2 排出量予測～政府目標は達成可能か～JIDEA モデルによる計測
- ・ リーマンショック後のトルコ—浮かび上がった強みと弱み—

(小林東策)